

# NOW

Vol.49 2023年 秋号

デジター 花言葉:「希望」「平和」「あなたと同じ気持ち」

## 2023年度の主な事業

2024年

1月29日(月) 新年互礼会

2月2日(金) 経営事例発表会

2月14日(水) 【大阪府女性会連合会】研修・交流会

3月 【関西女性会連合会】理事会&会長会議

## 2023年度通常総会・講演会

2023年6月22日 リーガロイヤルホテル大阪「山楽の間」

2023年6月22日(木)、リーガロイヤルホテル大阪「山楽の間」においてゲストを含め115名が集い、通常総会が行われました。まずは全員で「商工会議所女性会の歌」斉唱。実に3年ぶりの斉唱に、一同気持ちも新たに会の開始となりました。「活動指針」唱和、黙祷の後、廣瀬会長の開会のご挨拶となりました。廣瀬会長からは2022年の活動報告の後、コロナ禍を経て再び女性会として明るく元気に楽しい活動を活発に行っていきたいという思いを語っていただきました。廣瀬会長は、「大阪商工会議所女性会は間違いなく『大阪のパワースポット』だ」と語られ、参加者一同和やかな雰囲気となりました。

その後、議案の審議に入り、2022年度の事業報告案及び決算案、2023年度の事業計画案及び予算案の審議があり、いずれも可決されました。

続いて会員増強に貢献された株式会社伊東商事代表取締役の永井理豫子さん、株式会社 WIN-WIN 代表取締役の山内祥子さんの2名に感謝状が贈呈されました。また2023年にご結婚された会員へお祝い金贈呈、さらに、この一年間にご入会いただいた新会員のご紹介、同伴者のご紹介がありました。沢山の新会員が早速総会に出席いただけたことで、総会が一層活気に満ちた雰囲気となりました。

今年もお食事は、大阪商工会議所鳥井会頭の乾杯のご発声で始まり、今年も鳥井会頭からはスペイン産スパークリングワインをご提供いただき、楽しく美味しい宴が開始されました。

食事の後は「変革への挑戦・新しい価値創造とそれを支える組織運営～リテール No.1 を目指して～」という演題で、株式会社りそな銀行シニアアドバイザーで、大阪商工会議所副会頭の東和浩氏による講演がありました。

大阪野村銀行の創立や、大阪商工会議所とりそな銀行の関係性にも触れられ、昭和56年に古川進氏が会頭となられた後、複数の方が副会頭を歴任されたとのこと。特に私が印象深かったお話は、大阪野村銀行(りそな銀行)を設立した二代目野村徳七さんの「常に一步前進することを心がけよ。停止は、退歩を意味する」という言葉でした。優れた二代目が、一代目で興した事業(両替商)を拡大・発展させるのだということ学びました。

最後は、田村節子副会長からの閉会の挨拶があり、通常総会は盛会のうちに終わりました。今後、ますます明るく元気で華やかな女性会になるよう、私も活動していきたいと思っております。



(株式会社 JUMPS 代表取締役 石原 由美子)



# 2023年大阪府女性会連合会総会・講演会

2023年5月30日 ホテルニューオオタニ大阪「鳳凰の間」



5月30日火曜日、ホテルニューオオタニ大阪にて府女連の総会が開催されました。

議事後の講演では「私の企業家人生」と題してフォーリー淳子さんが講演されました。「焼肉の大同門」の娘に生まれ、成人して同時通訳の仕事をしてきた時に、AIの仕事で来日されていたアメリカ人のご主人と知り合いご結婚。

ITの会社を二人で立ち上げ、世界初のレコメンドシステムのソフトを考えられた。みなさんがアマゾンなどで買い物をしたりすると、その傾向から商品をお勧めしてくる機能です。そのソフトに複数の企業が興味を持ち、資本金300万の会社が、6億円の資金を調達し、社員も50人に増えて、大きな事務所を構えることができました。しかし、作ったソフトは3本しか売れず、結局株主にお金を返し元の二人に。再度一から出直し、株式を上場させ、社員数は50人規模に戻りました。

しかし、フォーリー淳子さんが話したかったのはここからで、実家の大同門の話が大変興味深いものでした。ご両親がキタに焼肉のレストランを初めて作られた当時は、お客様がレストランで自分で肉を焼いたり、自分で調理をすることはあり得ないことでした。当然お客様はゼロ。

そこでお母様が焼肉弁当なるものを考案されましたが、料理人は大反対。しかし、お父様は粹にとらわれず、何でも試せ、という方で、これが大ヒット。徐々に自分で焼くスタイルも定着してきましたが、レストランはおめかししていきたいところだから匂いが服につくのは厳禁という中で、初めて吸い込み式換気を考えだされたのが、大同門でした（特許を取られなかったらしく、残念）。

全盛期には全国に58店舗を展開。ところが和牛だけだった日本にオレンジとビーフが輸入解禁になり、郊外にも安い焼肉屋さん立ち並び、競争激化していた中、狂牛病が発生。大同門は120億の負債をかかえ民事再生法申請、そしてファンドの手に渡りました。

その頃、淳子さんは御自分の会社が軌道に乗っていたので家業だった大同門を買取り社長に就任。レガシーをそのまま受け継ぐだけではいけない、と、新メニューを考え、トッピングにもなぜそれを乗せる、飾るのか、とシェフに考えを聞き、昔からこうなのだという答えを否定。各人に考える癖をつけさせました。続いて新たな形態として肉バルを2店舗出したときに、あろうことかコロナが発生。波乱万丈の人生。店舗を閉め社員もやめてもらい、何とかしのいで2023年に12年ぶりの新店舗の大同門を天王寺ミオに出店。

彼女の座右の銘は「疾風に勁草をきる」。また、自分への戒めは「囷に乗るな」だそうです。経験談に珠玉の言葉がざっしり。

大変意義のある楽しい講演会で、まだまだ続きを聞きたい気持ちの皆様からの盛大で心からの応援を込めた拍手で幕を閉じました。



(アスカ興業株式会社 代表取締役 豊原 文美)

# 全国商工会議所女性会連合会新潟全国大会

2023年10月5日 朱鷺メッセ

## 朱鷺の国～新潟全国大会「ビヨンドコロナ」感謝と希望が舞う！

10月5日～7日に全女連新潟全国大会ならびに視察研修会に参加いたしました。「ようきになった新潟!まごころコメでおもてなし」をテーマに、全国から2300名もの女性経営者が新潟市の「朱鷺メッセ」に集結。5日開催の記念講演会では「変革を促すリーダーシップとDE&I」と題して長岡造形大学理事長の佐々木順子氏が講演。グローバルな視点で活動されていることに感動いたしました。6日の全国大会では、国家斉唱に続き、「商工会議所女性会活動指針」唱和の後、全女連の畠山会長、日本商工会議所の小林会頭、花角知事、中原市長、太田関東経済産業局長よりご挨拶がありました。ごあいさつ中で「女性が輝く社会」「新時代の未来を共に築く、より速くチャレンジ、より強くチェンジ」という言葉が印象に残っています。また、大商女性会から(株)シーダ代表取締役の矢野ひとみ様が「第22回女性起業家大賞最優秀賞」を受賞、矢野様のビヨンドコロナのステージに相応しい圧巻のメッセージに感銘いたしました。大会



の最後に廣瀬会長の大阪・関西万博のプレゼンテーションもありました。大会後、一路佐渡島へ。「天領盃酒造・トキの森公園・佐渡金山・青の洞窟」を見学。

大会を通じて、新潟の美しい文化・歴史・大自然の豊富な食材もさることながら、何よりも皆さまとの交流を深めたことで「得られた真の学び」に心より感謝申し上げます。



(株式会社桜花研究所 代表取締役 長倉 永似子)

## 『日本一の安全をめざして』

20代の頃はひたすら書道に打ち込んでこられた竹内様は、子育てが落ち着いた40代になって警備会社にパートで入社されました。そこで営業活動中に、踏切で偶然見かけた踏切監視員に話しかけたことがきっかけとなり、列車見張り業務という仕事と出会います。これは線路作業員の安全と列車の安全運行を守るための見張り、伝達業務をいいます。この出会いをもとに熱心に勉強された竹内様は、社内で新規事業を立ち上げた後、50歳の時に列車見張り専門会社を起業されました。

ところが創業当初はスタッフが定着せず、人手不足で余裕がないことからトラブルが頻発する事態に。これではいけないと竹内様は3泊4日のゼロ災運動研修に参加され、ゼロ災運動は人間尊重であるという大きな学びを得ることとなります。安全を徹底するにはルールを守る人の「心」を育てなければならない。そのためにはチーム全員参加の環境を作ることが大切であり、社員一人一人の心を尊重し、明るく生き生きとした職場に変えていく必要がある。トップ自らがまず意識を変えていかねばと強く決意されました。

それからは企業理念に「日本一安全」を掲げ、迷った時は安全か不安全かで考えること、損得より善悪を信念とされ、社員の安全を守りたい一心で徹底的にゼロ災運動を基本とした人材育成に取り組んでこられました。社内の行動指針として①チームワーク②凡事徹底③感謝④報連相⑤あいさつの5つがあり、社員一丸となって「正しい手法の徹底実践」を守り、心を育てる活動を十数年間続けた結果、創業以来、列車見張事故ゼロ、ゼロ災運動開始以来16年間休業労働災害ゼロを達成。安全に関する数々の賞も受賞されてこられました。

凡事徹底と人材育成の大切さとともに、安全安心の全責任を自らが取るという竹内様の経営者としての信念の強さを学ばせていただくとても貴重な機会となりました。



株式会社ルールソリューションズ  
代表取締役  
竹内 千里 様

(山本税理士事務所 代表 山本 洋子)



## 『突然の事業承継から3年、そしてこれから』

濱中様は2019年に株式会社ハマキャストの社長に就任されました。社長でいらっしやっただけのお父様が突然倒れられ、事業を承継なさることとなったのです。

株式会社ハマキャストは1945年に創業。建物の外装仕上材や防水材、シーリング材などを自社開発し、自社で「完全責任施工」されている建設業界では珍しい会社です。

2007年に同社に入社し、営業、製品開発、広報、人事等の業務に携わっていた濱中様ですが、突然の事業承継に戸惑われたことは想像に難しくありません。「社長ってなにをすればいいの?」と、しばらくは検索サイトで「社長の仕事」を調べたりしていたそうです。

そんな中、濱中様は経営者としての取組みを始めていかれます。まずお父様から受け継いだ内容を「継承すること」と「変革すること」の二つに分けて進めていきました。

継承するのは、他社にない高い技術力や企業理念といった長年大切に受け継いでこられたものです。

変革することは①トップダウンからボトムアップへ②IT化による業務の効率化③ブランディング戦略④拠点統合の四つでした。

父のようなカリスマ性はない。だから従業員が考えて行動できるようにと改革に取り組んだ結果、現場の課題が上がってきやすくなった、というお話が印象に残りました。

また、拠点を統合するために新社屋を完成させました。内部は従業員が働きやすいように、外壁は自社製品の展示場にと濱中様のアイデアと信念が詰まっています。

このように突然の事業継承を経て業務に邁進され、3月に大阪商工会議所「第一回活躍する女性リーダー表彰ブルーローズ賞」を受賞なさいました。

2030年に目指す姿に挙げられた「事業を通じて社会貢献し、お客様に喜んで頂き、従業員も働きやすい会社」をこれからも作っていかれることと思います。



株式会社ハマキャスト  
代表取締役  
濱中 陽子 様

(相互タクシー株式会社 取締役 多田 智重)

# 京都商工会議所女性会との交流会に参加して

2023年9月13日 野村美術館、對龍山荘、桜鶴苑

9月だということにとっても残暑が厳しい日でしたが、35名の参加者の皆様はとってお元気でバスの中では、お菓子やお茶が配られ大人の遠足気分でした。

野村美術館に到着すると、京都女性会の皆様のお出迎え、そして要所要所での案内や足元の確認等、お気遣い頂きました。茶席での一服はととても美味しかったです。

桜鶴苑で交流を兼ねた昼食会では、京都、大阪其々の取り組みが発表され、学ぶところが沢山あり刺激になりました。

帰りも、炎天下の中、最後までお見送りして下さいました京都女性会の皆様の温かいおもてなしに触れ、心がほっこりした交流会となり参加して本当に良かったです。

企画して頂きありがとうございました。



(株式会社タナック 代表取締役会長 藤河 和子)

## 委員会活動報告

### 企画委員会

#### 第6回企画委員会「そうだ貴船へ行こう！」

7月13日(木) 10:00~18:30



企画委員会 会員18名

廣瀬会長、池上顧問、堀内副会長、板東副会長、永井副会長、全23名参加

#### 第7回企画委員会「京都競馬 貴賓室視察」

11月11日(土) 10:00~16:30



京都競馬場  
10:00~16:40  
18名参加

### 広報委員会

#### 第6回広報委員会「藤田美術館鑑賞」

11月15日(水) 11:30~15:30



15名参加

ザ・ガーデンオリエンタル大阪にて広報委員会と会食を開催。  
NOWの秋号の校正をしたのち、藤田美術館にて明治期の実業家藤田傳三郎の美術コレクションと庭園を楽しみました。

### 組織委員会

#### 第4回組織委員会 「神戸視察会と相楽園のお食事会」



4月18日(火)の組織委員会「神戸視察会と相楽園でのお食事会」はいいお天気に恵まれました。  
神戸の視察として今回、株式会社マキシンの工場見学と渡辺社長のお話を聞かせて頂きました。

### 総務委員会

#### 第5回 総務委員会

大阪商工会議所 6階「桜の間」

5月16日(火)12時から、第5回・総務委員会及び懇親会を開催し、総務委員19名が出席者いたしました。



#### 第6回 総務委員会・懇親会

8月22日(火)18時から、「キッチンバー雅楽」において第6回総務委員会及び懇親会を開催し、総務委員16名が出席いたしました。



## 編集後記

女性会の活動を通じて、いろんな場所を訪問し、知識を深め、友情を育む。時には、新しい同士と出会い、語りあう。半年ごとに思い出を振り返ることは、素晴らしく小さな幸せを感じます。

広報委員会 副委員長 中西リカ